

平成29年度

組織図及び事務分掌

道 路 局

道 路 局
局 長(技)中 島 泰 雄

副 局 長(事)井 上 幸 一

総 務 部
部 長 < 副 局 長 兼 務 >

計 画 調 整 部
部 長(技)松 尾 寛

総 務 課
課 長(事)河 村 義 秀
< 危 機 管 理 推 進 担 当 兼 務 >
担 当 課 長(事)加 納 正 啓
(調 整 担 当)

交 通 安 全 ・
自 転 車 政 策 課
課 長(事)中 山 昭
担 当 課 長(事)野 田 繁 夫

事 業 推 進 課
課 長(技)清 水 裕 之
担 当 課 長(技)上 田 祐 一 郎
(鉄 道 交 差 調 整 担 当)

企 画 課
課 長(技)樹 岡 龍 太 郎
担 当 課 長(技)井 上 義 晃
(交 通 計 画 担 当)

庶 務 係
係 長(事)倉 田 真 希

担 当 係 長(事)塚 原 百 合 子
【主 担 任: 交 通 安 全 対 策 業 務】
担 当 係 長(事)小 原 勝 康
担 当 係 長(事)藤 崎 晋
【主 担 任: 放 置 自 転 車 対 策 業 務】

担 当 係 長(事)蒲 田 仁
【主 担 任: 道 路・街 路 国 費 調 整 業 務】
担 当 係 長(事)千 葉 哲 郎
【主 担 任: 会 議・要 望 調 整 業 務】
担 当 係 長(技)馬 場 明 希
【主 担 任: 道 路・街 路 国 費 調 整 業 務】
担 当 係 長(技)齊 藤 幸 司
担 当 係 長(技)宮 本 康 司
(鉄 道 交 差 調 整 担 当)

担 当 係 長(技)坂 入 啓 太
【主 担 任: 企 画 業 務】
担 当 係 長(技)故 島 哲 朗
【主 担 任: 道 路・街 路 調 整 業 務】
担 当 係 長(技)勝 俣 英 樹
担 当 係 長(技)寺 島 博 明
(交 通 計 画 担 当)
担 当 係 長(技)樽 川 正 弘
担 当 係 長(事)新 井 光 恵
(計 画 調 整 担 当)

- 1 局内の文書
- 2 局内の事務事業の連絡調整
- 3 局の危機管理
- 4 他の部、課、係の主管に属しないこと

- 1 自転車に関する総合計画
- 2 横浜市自転車等施策検討協議会
- 3 自転車等の放置防止対策及び放置防止に係る総合調整
- 4 自転車等対策事業指針
- 5 自転車駐車場設置に係る調整
- 6 自転車駐車場及び保管場所の運営管理
- 7 横浜市自転車駐車場管理運営業務評価委員会
- 8 民営自転車駐車場の整備助成
- 9 交通安全対策の企画及び連絡調整
- 10 交通安全の普及及び奨励
- 11 交通安全運動
- 12 違法駐車等の防止対策
- 13 横浜市交通安全対策会議
- 14 交通関係の調査、資料の収集
- 15 交通安全対策に係る関係行政機関及び関係諸団体との連絡調整

- 1 道路事業（土地区画整理事業に係るものを除く。）の執行調整及び国庫補助申請等
- 2 局所管の国直轄事業に係る国等との連絡調整
- 3 菊名駅自由通路改良事業及び大船駅北口県道横断歩道橋整備事業
- 4 道路改良事業を伴う交通結節点の実施計画、整備及び調整
- 5 立体交差化、構造改良等の踏切安全対策
- 6 道路に関する諸団体との連絡調整
- 7 部内他の課の主管に属しないこと

- 1 道路事業に関する総合調整及び重要施策の企画
- 2 道路事業（土地区画整理事業に係るものを除く。）の企画及び基本計画の策定並びに実施計画の調整
- 3 都市計画道路の計画
- 4 都市計画道路の事業認可に係る原案の調整
- 5 都市計画道路用地の先行取得の調整
- 6 一般財団法人横浜市道路建設事業団
- 7 株式会社横浜シーサイドライン
- 8 局の事務事業の広報等の企画、調整及び実施
- 9 駅前広場の計画
- 10 バス等に係る交通施策調整
- 11 地域交通に係る事務
- 12 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進のためのバリアフリー基本構想等
- 13 道路整備事業に伴う普通財産の貸付け及び処分に係る契約（財政局管財部管財課及び取得処分課の主管に属するものを除く。）
- 14 横浜市道路高架下等利用計画検討会
- 15 道路における広告事業等の実施

職 員 係
係 長(事)金 澤 英 俊

- 1 局内の人事
- 2 職員の勤務条件及び給与
- 3 職員の福利厚生
- 4 職員の衛生管理
- 5 職員の研修計画及び実施（他の課の主管に属するものを除く。）
- 6 その他労務

経 理 係
係 長(事)橋 本 潤 吾

- 1 局内の予算及び決算
- 2 局内の予算執行の調整
- 3 公共土木事業の連絡調整
- 4 局内の諸契約
- 5 局内の物品及び資材の出納保管
- 6 その他経理

道 路 部
部 長 (技) 新 倉 芳 樹

技 術 監 理 課
課 長 (技) 川 北 好 伸

担当係長 (技) 加藤日出美
【主担任: 技術監理業務】
担当係長 (技) 沼田 茂
【主担任: 検査業務】

- 1 土木工事に関する技術基準等の作成並びに指導及び研修 (他の局、部の主管に属するものを除く。)
- 2 土木工事に係る設計単価、歩掛り等の作成及び調整
- 3 局所管の請負工事 (道路の附属物としての照明施設等及び道路用エレベーター等 (以下「道路照明施設等」という。)) に係る工事並びに河川施設の機械、電気及び建築工事を除く。) の検査及び局所管の請負工事等の安全管理等
- 4 局所管の国庫補助事業に係る会計実地検査の連絡調整
- 5 その他技術監理

維 持 課
課 長 (技) 水 谷 俊 之
＜総務局危機管理室危機管理部
危機管理課担当課長兼務＞

調 整 係
係 長 (技) 本 橋 康 武
担当係長 (消) 堀 信 司

- 1 土木事務所との連絡調整 (他の局、部、課の主管に属するものを除く。)
- 2 道路の維持修繕、舗装及び道路改良の企画並びに連絡調整
- 3 道路の掘削跡復旧
- 4 私道舗装等整備助成に関する企画及び連絡調整
- 5 道路災害の連絡調整
- 6 局所管事業から発生する残土及び舗装廃材等の処分並びに再生利用の調整
- 7 部内他の課、係の主管に属しないこと

指 導 係
係 長 (技) 森 高 次

- 1 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路その他の道路の審査、検査及び指導並びに違反工事の連絡 (土木事務所の主管に属するものを除く。)

管 理 課
課 長 (事) 坪 井 豊

管 理 係
係 長 (事) 倉 品 敏 宏

- 1 道路の管理に係る関係諸機関との協定等
- 2 道路の管理等に係る事故処理、審査請求、訴訟等
- 3 道路の監察の調整
- 4 道路の損傷等の調整
- 5 特殊車両の通行許可 (他の局、部、課の主管に属するものを除く。)
- 6 車両制限令の施行 (他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 7 道路運送法による道路の現況調査
- 8 道路における不法占用の防止等の連絡調整に関すること (土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 9 その他道路の管理 (他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 10 他の係の主管に属しないこと

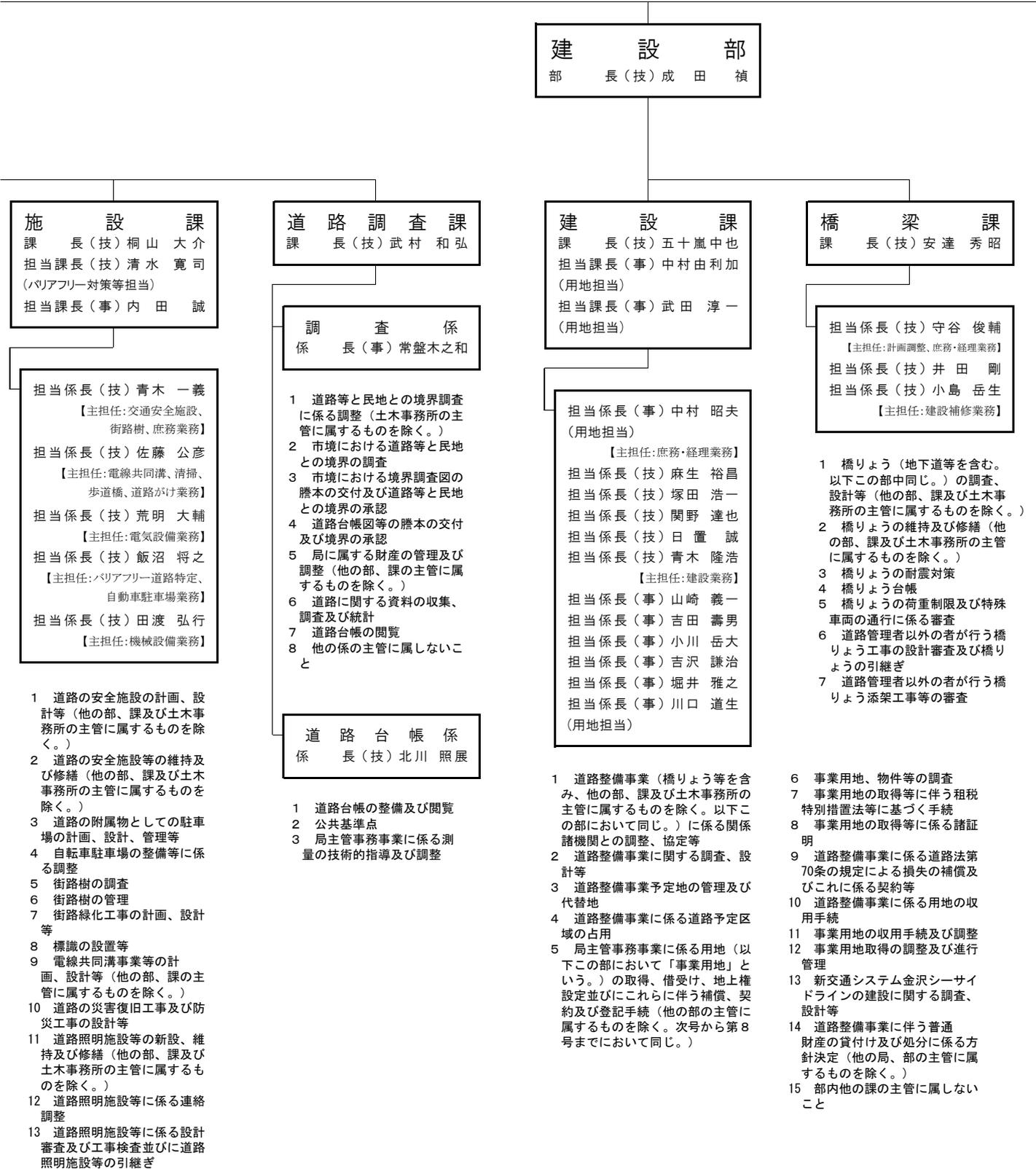
占 用 係
係 長 (事) 原 田 真 士

- 1 道路占用の総合調整
- 2 電線類地中化の連絡調整
- 3 道路 (道路予定区域を含む。) の占用許可 (他の部及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 4 道路占用料及び路面復旧監督費 (道路予定区域における占用料及び路面復旧監督費を含む。) の徴収 (他の部及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 5 道路工事等の連絡調整

路 政 課
課 長 (事) 大 内 義 則

担当係長 (事) 稲川 仁
【主担任: 北部業務】
担当係長 (事) 岩瀬 立子
【主担任: 南部業務】

- 1 道路の路線の認定、廃止及び変更並びに道路の区域の決定及び変更
- 2 道路の供用の開始等
- 3 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路の帰属及び管理並びにこれらに係る協議
- 4 廃止道路の譲与申請
- 5 道路用地に係る権利関係等の整理及び登記
- 6 私有道路を市道に認定するための測量に要する費用の助成



担当理事(技) 島田 健治
(横浜環状道路調整担当)

横浜環状北西線建設部
部長(技) 乾 晋

河川部
部長(技) 目黒 享

横浜環状北西線建設課
課長(技) 田中 洋介
担当課長(技) 櫻井 暁人
(設計担当)
担当課長(技) 谷津 毅
(施工管理担当)

横浜環状道路調整課
課長(技) 岡 靖之
担当課長(技) 角野 智史
(横浜環状道路調整担当)
担当課長(技) 栗本 高史

河川管理課
課長(技) 仲澤 克彦
<総務局危機管理室危機管理部
危機管理課担当課長兼務>

担当係長(事) 伊藤 康弘
担当係長(技) 梅津 彰
担当係長(技) 高橋 慶
(建設担当)
担当係長(技) 鈴木 淳司
担当係長(技) 清水 幸治
担当係長(技) 入野 克樹
担当係長(技) 熊田 政典
(設計担当)
担当係長(技) 古性 敏幸
担当係長(技) 金子 真嗣
担当係長(技) 落合 剣人
担当係長(技) 根本 進平
担当係長(技) 馬郡 弘幸
(施工管理担当)

担当係長(技) 高橋 陽太
担当係長(技) 大山 敦郎
担当係長(技) 木村 信一
【主担任:北線、北西線業務】
担当係長(技) 周治 諭
担当係長(技) 大橋 男
【主担任:南線業務】

担当係長(事) 黒森 智
【主担任:河川管理業務】
担当係長(事) 国本 貴志
【主担任:水路管財業務】
担当係長(技) 石田 隆二
【主担任:河川維持業務】

- 1 横浜環状北西線整備事業に係る関係諸機関との調整、協定等
- 2 横浜環状北西線整備事業に係る調査、設計、施行等
- 3 横浜環状北西線整備事業に係る用地（以下この部において「事業用地」という。）の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 4 事業用地（都市計画道路の事業認可の日以後に取得したものに限る。）の管理
- 5 横浜環状北西線整備事業に係る道路予定区域の占用
- 6 事業用地、物件等の調査
- 7 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 8 事業用地の取得等に係る諸証明
- 9 横浜環状北西線整備事業に係る道路法第70条の規定による損失の補償及びこれに係る契約等
- 10 事業用地の収用手続

- 1 横浜環状道路等高速道路の都市計画決定に係る原案の作成（横浜環状北西線建設部の主管に属するものを除く。次号から第4号までにおいて同じ。）
- 2 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業
- 3 横浜環状道路等高速道路の建設に伴う関係機関・団体との連絡調整
- 4 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業予定地の管理
- 5 その他高速道路

- 1 河川（市が管理するものに限る。以下この部中「管理河川」という。）一般下水道及び雨水調整池（市が管理するものに限る。以下この部において同じ。）の土地の占用（土木事務所が管理するものを除く。）及び占用料の徴収等（河川法（昭和39年法律第167号）第4条第1項に規定する一級河川（以下「一級河川」という。）及び同法第5条第1項に規定する二級河川（以下「二級河川」という。）の占用料の徴収を除く。）
- 2 管理河川、一般下水道及び雨水調整池等の管理者以外の施行する工事等の承認
- 3 開発行為等に伴う管理河川、一般下水道及び雨水調整池等の指導及び管理に係る協議
- 4 管理河川、一般下水道及び雨水調整池の不法占用
- 5 管理河川、一般下水道及び雨水調整池等の維持管理
- 6 都市基盤河川の維持
- 7 課所管工事の工費用資材及び器材の検査
- 8 一般下水道の工事等
- 9 管理河川、一般下水道及び雨水調整池の新設及び用途廃止（一級河川及び二級河川の指定等を除く。）並びに寄附及び譲渡等
- 10 河川管理権限の移譲
- 11 水防
- 12 河川愛護思想の普及
- 13 水辺愛護会
- 14 管理河川、一般下水道及び雨水調整池等の台帳
- 15 都市基盤河川の台帳（河川事業課の主管に属するものを除く。）
- 16 一般下水道及び雨水調整池等の財産管理及び土地に係る権利の得喪変更
- 17 都市計画法等に基づく開発行為等により設置される一般下水道及び雨水調整池の帰属
- 18 事務処理の特例に関する条例（平成11年神奈川県条例第41号）別表第125項の2及び第126項の規定による国有財産法（昭和23年法律第73号）に基づく事務並びに同表第156項及び第156項の3の規定による不動産登記法（平成16年法律第123号）に基づく事務（管理河川の用に供されている国土交通省所管不動産に係るものに限る。）
- 19 管理河川、一般下水道及び雨水調整池等に係る土木事務所との連絡調整
- 20 河川区域内の公有水面の埋立免許
- 21 部内他の課の主管に属しないこと

〔区役所土木事務所
職員は、環境創造
局・道路局を兼務〕

土木事務所

副 所 長

管 理 係

道 路 係

下 水 道 ・ 公 園 係

河 川 計 画 課
課 長（技）内 田 昭 博

- 担当係長（技）森田 真郷
【主担任：河川調整業務】
- 担当係長（技）徳重 拓也
【主担任：河川計画業務】
- 担当係長（技）蒲谷 敏男
【主担任：開発協議業務】

- 1 河川事業及び一般下水道の基本方針及び実施の計画
- 2 河川事業及び一般下水道に係る統計、調査及び研究
- 3 河川事業の執行調整及び国庫補助申請等
- 4 河川の都市計画決定
- 5 河川の流域対策の計画
- 6 総合治水対策の推進
- 7 開発事業調整条例第18条第2項第5号に基づく雨水流出抑制施設に係る開発事業計画の同意に係る審査、指導等
- 8 特定都市河川浸水被害対策法(平成15年法律第77号)第9条から第31条までの規定に基づく雨水浸透阻害行為に係る許可、保全調整池の指定等

河 川 事 業 課
課 長（技）秋 本 圭 一

- 担当係長（技）長嶋 大海
【主担任：北部担当】
- 担当係長（技）村澤 洋一
【主担任：南部担当】
- 担当係長（事）森 善 裕
(用地担当)

- 1 河川工事及び流域対策工事の設計及び施行
- 2 河川工事等に係る用地の測量その他の技術的調査
- 3 都市基盤河川の台帳に係る調査
- 4 河川の災害復旧
- 5 課所管工事の工食用資材及び器材の検査
- 6 課所管工事に伴い生ずる被害の補償等
- 7 河川整備事業に係る用地（以下この部中「事業用地」という。）の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 8 事業用地、物件等の調査
- 9 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 10 事業用地の取得等に係る諸証明
- 11 事業用地の取得、借受け及び地上権等の設定並びにこれらに係る補償に伴う経理事務
- 12 河川整備事業予定地の管理及び代替地
- 13 課主管事務事業に係る事業用地の取用手続



平成 29 年 度

事 業 概 要

道 路 局

目 次

	ページ
◇平成29年度 道路局予算案について	1
◇主な事業・取組	
Ⅰ 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備	3
～都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ！～	
1 広域的な道路ネットワークの形成	
2 市内道路ネットワークの充実	
3 米軍施設返還跡地関連道路の検討	
Ⅱ 市民生活の安全・安心の確保	9
～市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ！～	
1 防災・減災対策	
2 計画的な保全・更新・維持管理	
3 誰もが安全・安心に利用できる道路空間	
Ⅲ 魅力あるまち・みちづくり	19
～魅力や利便性を向上し、誰もが住み続けたいまちへ！～	
1 駅周辺の魅力・利便性の向上	
2 駅周辺への道路交通環境改善	
3 まちの魅力創出	
◇平成29年度 道路局予算案	24
◇損失補償	34
◇＜参考＞ 各区土木事務所との連携	35

平成29年度 道路局予算の編成

平成29年度道路局予算の編成では、街路整備費など一部の事業を28年度12月補正予算(※)と一体的に編成しています。

本文中の表記について

◆ 平成29年度当初予算と28年度12月補正予算を一体的に編成した事業

XX億XXXX万円 <XX億XXXX万円> (XX億XXXX万円)
29年度当初予算 12月補正を含めた予算※ 28年度当初予算

◆ 平成29年度当初予算のみの事業

XX億XXXX万円 (XX億XXXX万円)
※人件費改定や入札残による減額などの補正分は含みません。
※1万円未満は四捨五入しています。

◆ 再掲した事業については本文中に【再掲】と表記しています。

<コラム一覧>

コラム①	～全線が開通します 金沢シーサイドライン延伸工事～	5頁
コラム②	都市計画道路の整備について	5頁
コラム③	将来のみちづくりの検討	8頁
コラム④	地震に強い都市づくりの推進	9頁
コラム⑤	無電柱化推進計画の策定	10頁
コラム⑥	和泉川改修事業 平成30年度未完成へ！	11頁
コラム⑦	再生可能エネルギーで水防体制強化！	12頁
コラム⑧	道路占用について	14頁
コラム⑨	道路高架下・道路予定区域等の有効活用	14頁
コラム⑩	道路管理高度化システム（道路土木GIS）	15頁
コラム⑪	路面下空洞調査	16頁
コラム⑫	通学路の安全対策	17頁
コラム⑬	ビッグデータを活用した交通安全対策	18頁
コラム⑭	鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討	20頁
コラム⑮	新たな試み：高齢者等移動支援バスモデル事業	21頁
コラム⑯	魅力ある帷子川を考えるワーキング始動！	23頁

1 基本目標

「チーム道路」の総力を結集し、市民生活や横浜経済を支える強靱な都市基盤を構築するとともに、安全・安心な道路・河川空間、災害に強いまちづくりを実現します。

2 目標達成に向けた施策

中期4か年計画の目標達成とその先を見据え、3つの視点から取組を進めます。

(1) 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備

～都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ！～

横浜環状道路の早期整備を実現することで、本市の高速道路ネットワークを充実させ、横浜港の国際競争力の強化をはじめとする広域的なアクセス性の強化、災害時のリダンダンシー（多重性）の確保、幹線道路における渋滞の緩和などを図ります。

さらに、都市計画道路等の整備を着実に進め、市民生活における利便性・安全性向上、市域の一体化を図るとともに、地域を分断し、渋滞の原因となっている「開かずの踏切」の解消に取り組みます。

また、米軍施設返還跡地の利用など、まちづくりにあわせた効果的な道路整備を進めます。



整備中の横浜環状北西線

(2) 市民生活の安全・安心の確保

～市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ！～

ソフト・ハード両面にわたり防災・減災対策を進めることで、激甚化する自然災害や切迫する巨大地震による被害を最小限に抑えます。

また、生活道路や通学路における安全対策を進め、子どもや高齢者など誰もが安全・安心に利用できる道路空間を実現していきます。

加えて、道路・橋梁、河川施設等の老朽化が進む中で、計画的な保全・更新、維持管理により、安全性の確保、長寿命化を図っていきます。



老朽化による河川の護岸崩落

(3) 魅力あるまち・みちづくり

～魅力や利便性を向上し、誰もが住み続けたいまちへ！～

市民生活を支える鉄道駅等へのアクセス改善、周辺地区のバリアフリー化など道路交通環境の改善を進めます。

また、「健康寿命日本一」の実現に向けて、健康みちづくりなどを進めるとともに、生物多様性に配慮した河川環境の整備などにより、まちの魅力を高めていきます。

さらに、「ハマロードサポーター」や「水辺愛護会」による道路・河川の美化活動を支援するなど、市民の皆様との協働による取組を充実していきます。



健康みちづくりの推進

3 目標達成に向けた組織運営

これまで受け継がれてきた「技術力」を組織的に継承し、人材育成に取り組むとともに、職員が意欲と能力を最大限発揮できる職場環境づくり、ワーク・ライフ・バランスや業務の効率化を意識して働き方改革に取り組みます。

また、市民の皆様や社会からの要請に全力で応える意識を職員一人ひとりが持ちながら、道路局、土木事務所が「チーム道路」で一丸となって取り組めます。



3 予算総括表

<一般会計>

平成29年度の道路局の一般会計の予算額（28年度補正予算額を含む）は1001億2002万円、対前年度比13億6148万円、1.4%の増となっています。

（単位：千円）

科目	29年度 当初予算額	28年度補正予算 を含めた額 (A)	28年度 当初予算額 (B)	増▲減額 (A)－(B)	増▲減率
歳出	84,872,703	100,120,017	98,758,539	1,361,478	1.4%
12款 道路費	83,611,879	98,859,193	97,351,005	1,508,188	1.5%
1項 道路維持管理費	23,249,465	23,249,465	22,436,697	812,768	3.6%
2項 道路整備費	57,188,499	71,955,813	71,261,714	694,099	1.0%
3項 河川費	3,173,915	3,653,915	3,652,594	1,321	0.0%
17款 諸支出金	1,260,824	1,260,824	1,407,534	▲ 146,710	▲ 10.4%

財源内訳	84,872,703	100,120,017	98,758,539	1,361,478	1.4%
特定財源	58,248,316	73,389,338	72,915,226	474,112	0.7%
国庫支出金	15,867,247	24,094,269	19,153,454	4,940,815	25.8%
県支出金	627,190	787,190	709,100	78,090	11.0%
使用料及び手数料	8,286,461	8,286,461	8,130,475	155,986	1.9%
諸収入等	7,300,418	7,300,418	11,859,197	▲ 4,558,779	▲ 38.4%
市債	26,167,000	32,921,000	33,063,000	▲ 142,000	▲ 0.4%
一般財源	26,624,387	26,730,679	25,843,313	887,366	3.4%

<自動車駐車場事業費会計>

平成29年度の道路局の自動車駐車場事業費会計の予算額は10億4984万円、対前年度比1億5685万円、13.0%の減となっています。

（単位：千円）

科目	29年度 当初予算額	28年度 当初予算額	増▲減額	増▲減率
歳出	1,049,843	1,206,688	▲ 156,845	▲ 13.0%
1款 自動車駐車場事業費	1,049,843	1,206,688	▲ 156,845	▲ 13.0%
1項 運営費	502,480	601,700	▲ 99,220	▲ 16.5%
2項 公債費	546,363	603,988	▲ 57,625	▲ 9.5%
3項 予備費	1,000	1,000	0	0.0%

財源内訳	1,049,843	1,206,688	▲ 156,845	▲ 13.0%
特定財源	503,480	602,700	▲ 99,220	▲ 16.5%
国庫支出金	47,850	72,600	▲ 24,750	▲ 34.1%
使用料及び手数料	376,539	378,122	▲ 1,583	▲ 0.4%
諸収入等	79,091	151,978	▲ 72,887	▲ 48.0%
一般会計繰入金	546,363	603,988	▲ 57,625	▲ 9.5%

主な事業・取組

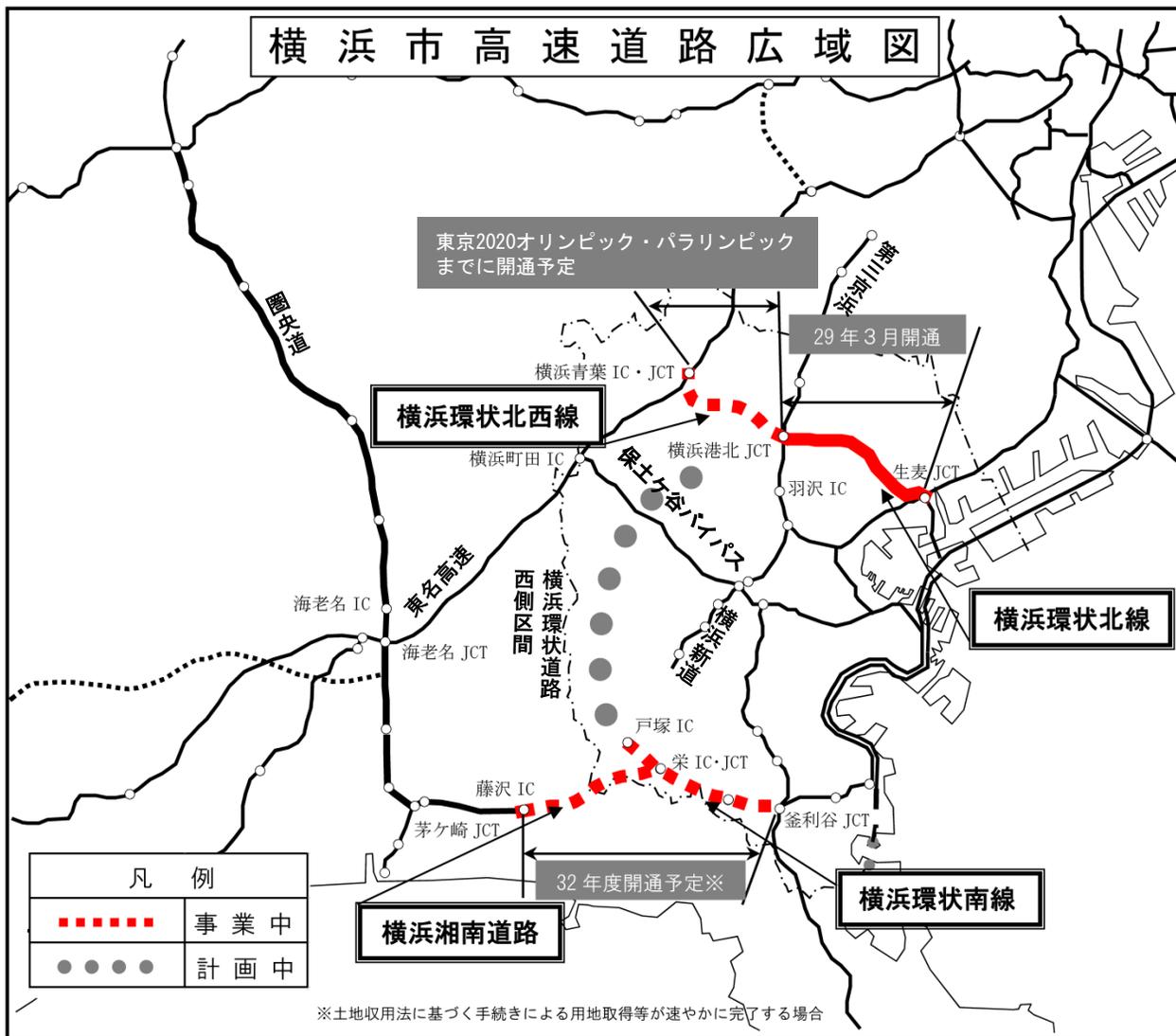
I 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備 ～都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ！～

1 広域的な道路ネットワークの形成

横浜環状道路等の整備 333億1276万円 <445億7979万円> (475億491万円)

29年3月に開通した北線に引き続き、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指し、北西線の整備を進めます。

また、首都圏中央連絡自動車道の一部を構成する南線及び横浜湘南道路の整備促進を図っていきます。



- ア 横浜環状北西線 207億9427万円 <307億9427万円> (251億9550万円)
共同事業者である首都高速道路株式会社と連携しながら、全工区において建設工事の進捗を図ります。特にシールドトンネルの掘進を本格的に進めます。
また、本線と一般道路を結ぶ川向線などの関連街路の整備を推進します。
なお、事業にあたっては、首都高速道路株式会社による立替施行を導入し、事業費負担の平準化を図ります。(平成29年度立替施行予定額 約211億円)

イ 横浜環状北線 32億5486万円 <39億8189万円> (115億1950万円)
 首都高速道路横浜北線 (K7) として、平成29年3月18日に開通しました。残る馬場出入口及び関連街路である大田神奈川線等の早期開通に向けて、首都高速道路株式会社と連携し、取り組みます。



ウ 横浜環状南線・横浜湘南道路 92億6363万円 <98億363万円> (107億8991万円)
 事業者である国土交通省及び東日本高速道路株式会社とともに、早期整備に向けて取り組みます。
 また、本線と一般道路を結ぶ上郷公田線、田谷線及び横浜藤沢線の整備を推進します。



2 市内道路ネットワークの充実

(1) 都市計画道路等の整備 (横浜環状道路関連街路以外)

56億4384万円 < 58億4384万円 > (53億5557万円)

市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、都市計画道路等の整備を進めます。

- ・市道片倉六角橋線【神大寺地区】 (神奈川区)
- ・市道汐見台平戸線【別所地区など4地区】 (南区・港南区・磯子区)
- ・鴨居上飯田線【本宿二俣川地区】 (旭区)
- ・市道上白根第99号線【白根六丁目地区など4地区】 (旭区)
- ・金沢シーサイドライン (金沢区)
- ・宮内新横浜線【新吉田高田地区】 (港北区)
- ・川崎町田線【田奈地区】 (青葉区)
- ・権太坂和泉線【和泉地区】 (泉区)
- ・環状3号線【戸塚地区】 (戸塚区)
- ・桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】 (戸塚区) など43箇所

(2) 国道の整備

13億1734万円 (9億900万円)

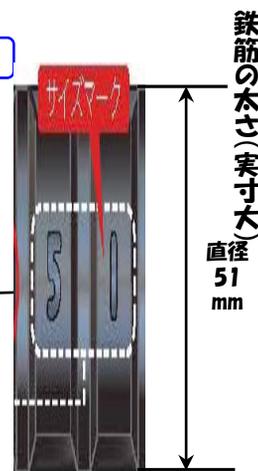
本市の道路ネットワークの骨格を担う国道の改良を進めます。

- ・国直轄事業 無電柱化 (電線共同溝整備) 推進
国道16号旭電線共同溝 (旭区) など
- ・補助事業 国道1号【保土ヶ谷橋工区】 (保土ヶ谷区)
国道1号【不動坂交差点】 (戸塚区)

コラム① ～全線が開通します 金沢シーサイドライン延伸工事～

地域への工事の見える化

巨大地震にも耐える新駅舎に向けて



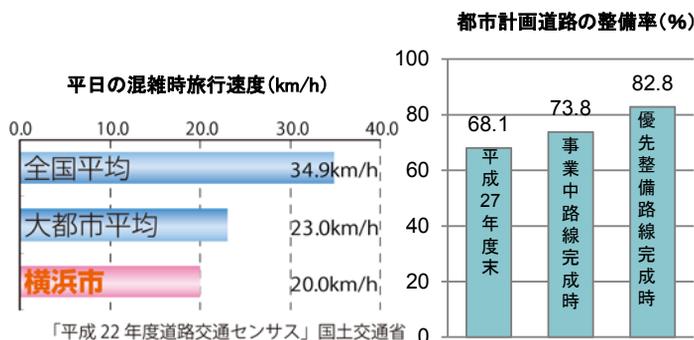
関東学院大学工学部の学生見学会 (平成28年6月)

直径4.5mの基礎杭(鉄筋組立中) (平成28年6月)

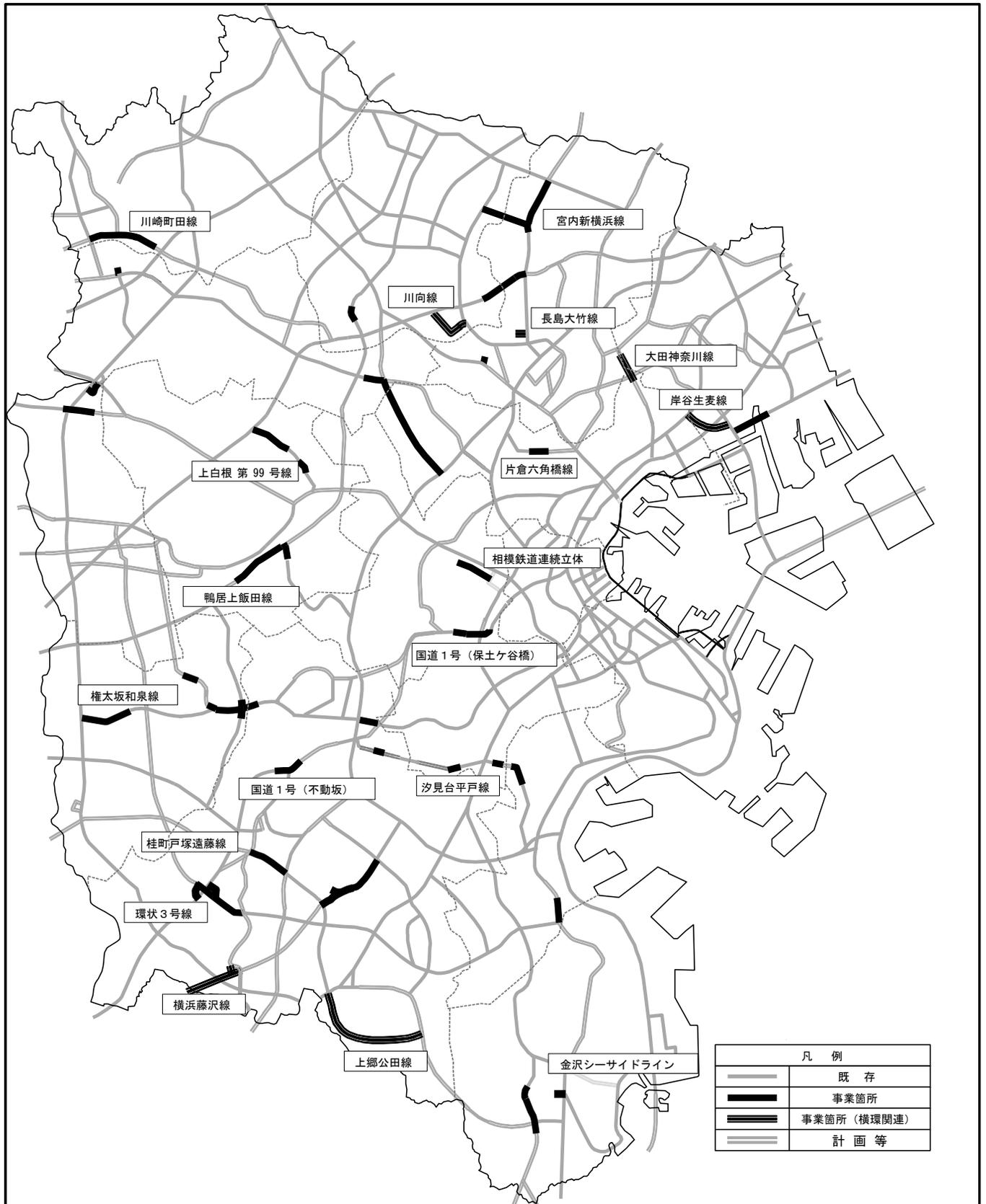
コラム② 都市計画道路の整備について

都市計画道路の整備率は、政令指定都市の中で最も低い水準にあり、平成37年度頃までに現在事業中の路線の完成を目指しています。

未着手の路線のうち、道路ネットワークとして必要性の高い路線(優先整備路線)は、37年度頃までの事業着手を目標としており、これらが完成すると放射環状道路のネットワークが概ね完成します。



主な事業箇所（幹線道路）



凡 例	
	既 存
	事業箇所
	事業箇所（横環関連）
	計 画 等

(3) 連続立体交差事業

23億2247万円<53億2247万円> (33億7800万円)

都市内交通の円滑化や都市の活性化を図るため、連続立体交差事業を進めます。

ア 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業（保土ヶ谷区）

22億1567万円<52億1567万円> (33億1200万円)

平成30年秋の全線高架化に向け上り線の工事を進めます。（29年3月の下り線高架化により、高架区間内全ての「開かずの踏切」が解消されました。）



星川2号踏切 高架化前



【実施区間：星川駅～天王町駅 約1.9km】
【踏切除却数：9箇所（すべて開かずの踏切）】



高架化後

イ 相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業（旭区）

1億680万円 (6600万円)

事業化に向け、立体化手法や周辺道路の整備方法等を検討するための事業調査（測量、地質調査、設計など）を進めます。

【検討区間：二俣川駅～西谷駅 約2.7km】
【踏切除却数：10箇所（うち開かずの踏切5箇所）】



踏切遮断による周辺道路渋滞状況
（鶴ヶ峰2号踏切）



踏切遮断による救急活動支障状況
（鶴ヶ峰2号踏切）

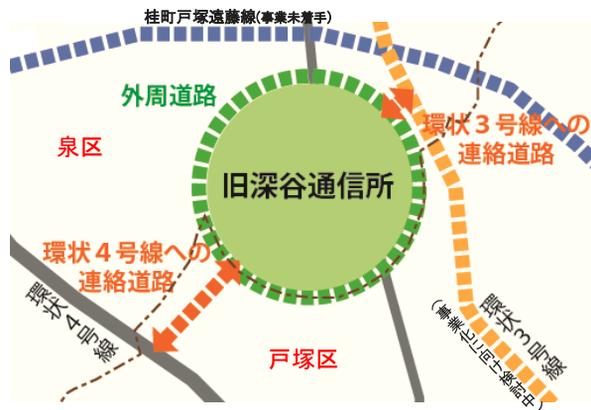
3 米軍施設返還跡地関連道路の検討

(1) 旧深谷通信所跡地利用関連道路計画検討

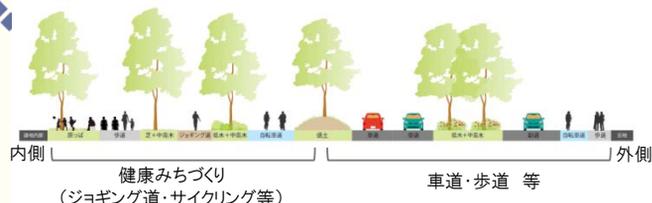
2000万円 (2000万円)

旧深谷通信所跡地 (平成26年6月返還) において、跡地利用基本計画の進捗に合わせ、健康みちづくりを含む外周道路及び環状3号線・4号線との連絡道路について検討を進めます。

<検討位置図>



<外周道路イメージ>



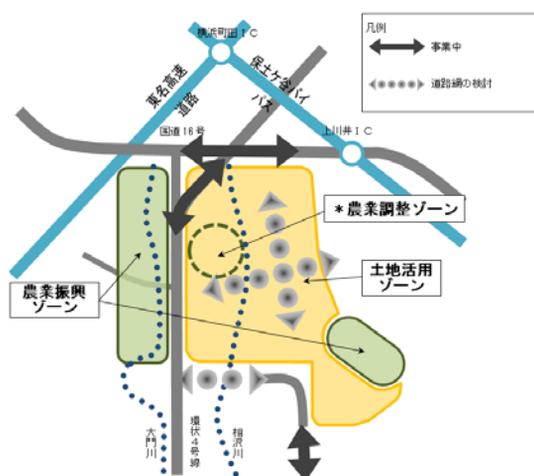
(2) 旧上瀬谷通信施設跡地利用関連道路計画検討

1000万円 (1000万円)

旧上瀬谷通信施設 (平成27年6月返還) については、土地利用検討の進捗に合わせ、跡地内道路の計画や周辺幹線道路からのアクセスなどについて検討を進めます。



旧上瀬谷通信施設の位置と道路交通基盤の状況

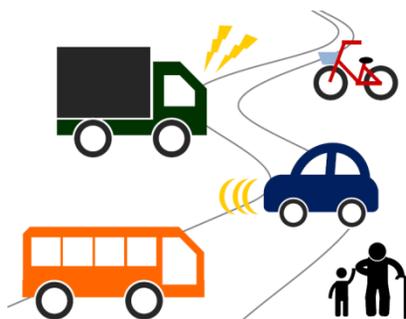


跡地利用ゾーン(案)
(平成28年4月政策局基地対策課作成資料)

コラム③ 将来のみちづくりの検討

横浜市が過去30年間で取り組んできた道路交通施策を整理・検証するとともに、都市構造や地域特性、今後想定される様々な社会・経済状況の変化や自動運転などの技術革新の動向などを想定しながら、2050年頃の道路交通環境を取り巻く状況について予測します。

その上で、横浜市の持続的な成長・発展に資する施策を体系的に整理し、「みちづくりのロードマップ」を検討します。



Ⅱ 市民生活の安全・安心の確保

～市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ！～

1 防災・減災対策

(1) 地震対策（橋梁・歩道橋） 8億3000万円＜8億5000万円＞（12億6500万円）

ア 橋梁の地震対策 6億3000万円＜6億5000万円＞（9億6000万円）

緊急輸送路上の橋、跨線橋などの耐震補強等を進めます。

(ア) 重要橋梁

- ・耐震補強 万里橋（西区）
- ・架替え 新浦島橋（神奈川区）（平成29年度完成予定）
かたぶき人道橋（金沢区）

(イ) 一般橋梁

- ・耐震補強 安善橋（鶴見区）
富士見橋（神奈川区）
常盤橋（保土ヶ谷区）
夕照橋（金沢区）
矢上川橋、樽綱橋、
樽橋、綱橋（港北区）
など11橋



耐震補強工事中の夕照橋(金沢区)

イ 歩道橋の地震対策 2億円（3億円）

緊急輸送路上の歩道橋から優先して、耐震補強を進めます。

- ・寛政町歩道橋（鶴見区）
- ・鶴見神社前歩道橋（鶴見区）
- ・軽井沢歩道橋（西区） など5橋



落橋防止装置:新羽歩道橋(港北区)

コラム④ 地震に強い都市づくりの推進

災害時の消火活動や救助活動、緊急物資の輸送機能確保のため、緊急輸送路となる高速道路や18m（4車線相当）以上の幹線道路の整備を進めます。

また、橋梁の耐震補強や老朽橋の架替え、歩道橋の耐震補強、無電柱化の推進などにより、緊急輸送路の地震対策を進めます。



架替工事中的の新浦島橋（神奈川区）

(2) 道路がけ防災対策事業

1億7000万円(2億7000万円)

道路を利用する市民の安全と交通機能確保のため、緊急輸送路やバス路線など重要な道路に面した箇所などについて、点検結果に基づく予防保全のための対策工事を進めます。

- ・保土ヶ谷区権太坂三丁目
- ・西区浅間台
- ・栄区上郷町
- ・瀬谷区阿久和南一丁目 など12箇所

港北区綱島東二丁目の対策



対策前



対策後

(3) 無電柱化推進事業

4億8300万円(4億8300万円)

緊急輸送路や区役所へのアクセス道路などを優先し、電線類の地中化を図るため、電線共同溝の整備を進めます。また、「横浜市無電柱化推進計画」策定に向けて検討を進めます。

- ・環状2号線【駒岡・上末吉地区】（鶴見区）
- ・市道下末吉第161号線（鶴見区）（平成29年度一部完成予定）
- ・市道山下本牧磯子線【新山下地区】（中区）
- ・市道山下高砂線（南区）
- ・市道山下本牧磯子線【原町地区】（磯子区） など9地区

さらに、国道との緊急輸送路ネットワークを形成するため、第1次緊急輸送路や緊急輸送路に指定予定の事業中の都市計画道路について、道路法第37条に基づく占用制限を行います。

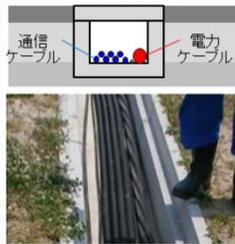
併せて、道路占用許可基準を改正し、電線類を従前より浅く埋設することができるようにすることで、無電柱化を推進します。

コラム⑤ 無電柱化推進計画の策定

従来の電線共同溝方式による無電柱化は、歩道幅員が狭い箇所への整備や整備コストが高いことなど課題があります。

現在、国の無電柱化に係る低コスト手法の技術検討などを踏まえつつ、防災性や快適性、安全性、景観形成の観点を取り入れた無電柱化推進計画の策定に取り組んでいます。

（平成28年12月に「無電柱化の推進に関する法律」が施行されました。国に無電柱化推進計画の策定を義務付けるなど、無電柱化に関する施策を迅速に推進することとしています。）

管路の浅層埋設	小型ボックス活用埋設	直接埋設
現行より浅い位置に埋設	小型化したボックス内にケーブルを埋設	ケーブルを地中に直接埋設
		
管路の事例(国内)	小型ボックスの事例	直接埋設の事例(パリ)

国の低コスト手法の検討状況（国土交通省ホームページ抜粋）

(4) 河川整備

21億3362万円 < 26億1362万円 > (24億5356万円)

治水安全度の向上を図るため、河川改修や流域貯留施設の整備などによる総合的な治水対策をより一層推進するとともに、既存ストックを活用した暫定対策等により即効性のある浸水対策を進めます。また、河川改修とあわせ管理用通路を整備し、健康みちづくりや通学路にも活用します。

ア 都市基盤河川改修事業

18億3605万円 < 23億1605万円 > (18億7136万円)

- ・ 帷子川 学校橋の架替え (旭区上川井町)
- ・ 今井川 護岸改修、JR岩間川橋梁工事 (平成29年度完成予定)
(保土ヶ谷区権太坂一丁目、岩井町)
- ・ 和泉川 護岸改修、整備中河道への暫定通水 (泉区和泉町)
- ・ 阿久和川 慶林橋の架替え (泉区新橋町)
- ・ いたち川 右支川改修 (栄区桂町)
- ・ 宮川 待橋架替えの設計 (金沢区釜利谷東七丁目) など9河川



今井川
(平成29年度末に完成するJR岩間川橋梁)



和泉川
(和泉川改修と権太坂和泉線整備の連携)

イ 準用河川改修事業

2億8337万円 (5億5300万円)

- ・ 準用奈良川 護岸改修 (平成29年度全川の通水完了予定) (青葉区奈良町)
- ・ 準用日野川 護岸改修 (港南区日野七丁目) など4河川

ウ 流域貯留施設の整備

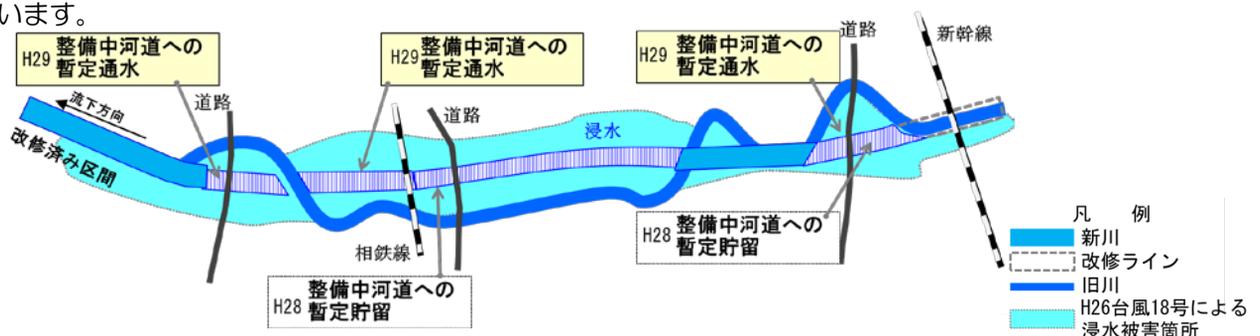
1420万円 (2920万円)

- ・ 中山小学校 貯留施設の設計等 (緑区中山町)

コラム⑥ 和泉川改修事業 平成30年度末完成へ！

和泉川は昭和46年から河川改修を進めており、30年度末に完成します。

計画的に改修を進める一方で、28年度は、13,000m³の暫定貯留と部分的な暫定通水を実施し、29年度末は、全川での暫定通水を実施するなど、暫定的な対策により、少しでも早く治水効果を発揮できるよう取り組んでいます。



(5) 水防事業

1億786万円（1億2008万円）

近年増加する風水害や水難事故から市民の方々の安全を自助・共助により守るため、水防災情報システムや、親水拠点警報装置などを適切に維持管理し、気象情報や河川に関する情報を発信します。

- ・水防災情報システム 28河川（水位計62箇所、監視カメラ画像25箇所）
- ・親水拠点警報装置 19箇所
- ・水防資器材の備蓄・整備（各土木事務所） など

水防災情報システム 監視カメラ画像（戸塚区：平戸永谷川嶽下橋）



平常時



出水時（平成28年8月22日）



水位情報ページの一部（英語版）

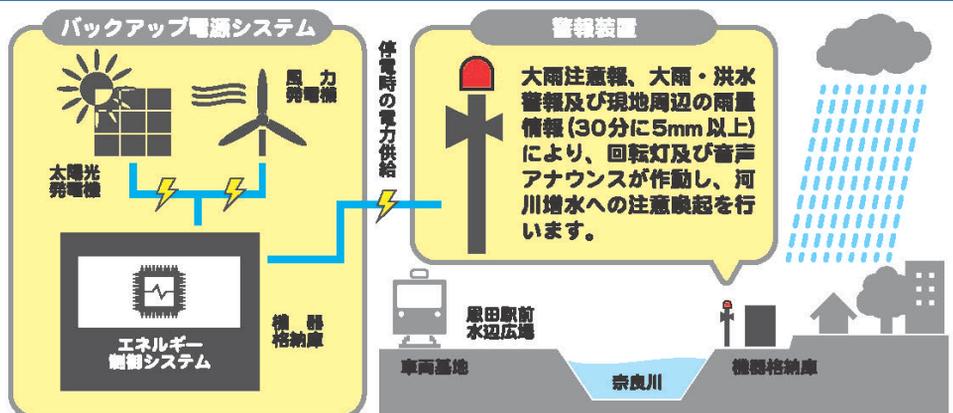


親水拠点警報装置
（栄区：いたち川扇橋の水辺）

コラム⑦ 再生可能エネルギーで水防体制強化！

太陽光や風力等の再生可能エネルギーを活用した水防設備等のバックアップ電源について、平成27年度より官民連携でエマージェンシーエネルギープロジェクトを行っています。

災害時などの停電時にも水防災情報等を提供できるよう取り組みます。

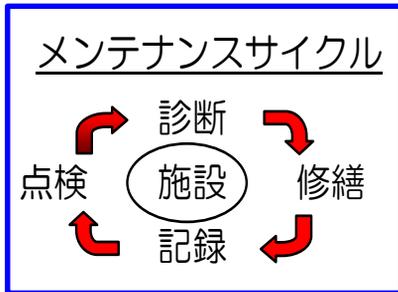


奈良川恩田駅前水辺広場での実験イメージ

2 計画的な保全・更新・維持管理

(1) 施設の老朽化対策 **34億2844万円<36億592万円>** (28億3871万円)

道路・河川施設の老朽化対策として「横浜市公共施設管理基本方針」に基づき、各施設の長寿命化を図る保全計画等を策定し、メンテナンスサイクルにより効率的かつ効果的な維持管理・更新等を進めます。



定期点検(跨線橋の近接目視)

ア 橋梁の老朽化対策 **25億634万円<26億8383万円>** (21億1662万円)

- (ア) 定期点検 約350橋
- (イ) 計画的な補修 小野橋(鶴見区)、荒木橋(神奈川区)、嶮山中央橋(青葉区) 第三和泉原橋(泉区) など約110橋
- (ウ) 老朽橋の架替え 末吉橋(鶴見区)
天神橋(磯子区) (平成29年度完成予定)
- (エ) 「産学官」の連携

橋梁・トンネルに係る保全技術の研究・普及を図るため、横浜建設業協会、横浜市建設コンサルタント協会、横浜国立大学大学院との協定に基づき、実橋を用いた研究や新技術の実証実験などに取り組みます。



補修工事中の嶮山中央橋(青葉区)

イ トンネル・地下道の補修 **2億8309万円** (2億709万円)

- (ア) 定期点検 35箇所
- (イ) 計画的な補修 代官隧道(中区)、萩台トンネル(磯子区) など13箇所

ウ 歩道橋の老朽化対策 **5億1900万円** (4億2300万円)

- (ア) 定期点検 約70橋
- (イ) 計画的な補修 浅間歩道橋(西区) など14橋
- (ウ) 化粧パネルの撤去
戸塚駅東口歩道橋(戸塚区) など3橋
- (エ) 歩道橋の撤去 菊名歩道橋(港北区) など2橋



化粧パネルの撤去:桜木橋(中区)

エ 河川施設等の老朽化対策 **1億2000万円** (9200万円)

- (ア) 定期点検 38河川
- (イ) 計画的な補修 川上川(戸塚区) など4河川
- (ウ) 保全計画策定 ポンプ排水型遊水地の設備
- (エ) 保全計画策定のための調査 護岸を有する水路

(2) 道路修繕

99億5980万円 (89億5980万円)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなっている道路の計画的な修繕や緊急を要する舗装補修を進めます。

なお、年度末における道路の損傷や、災害等に対応する舗装補修（応急修理）工事と発注・施工時期の平準化の要請に対応する道路修繕工事のための債務負担行為を設定します。



舗装修繕工事の状況

(3) 街路樹・植樹帯の管理

14億4522万円 (13億2950万円)

ア 剪定・刈込等

街路樹及び植樹帯の植栽について剪定や刈込等を進めます。

- ・街路樹 約133,600本
- ・植樹帯 約126ha

イ 倒木対策

キノコを原因とする街路樹の倒木を防ぐために、樹木医による点検を進めます。

- ・街路樹点検 約6,000本

※これ以外に、みどり保全創造事業費会計の予算を活用し、街路樹剪定の充実を図ります。

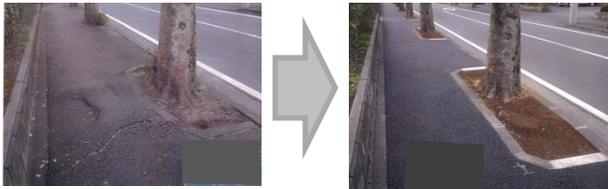


樹木医による点検実施状況

ウ 改良工事

歩道の根上がりや樹木の老朽化により、歩行者の安全な通行に支障がある街路樹について、改良工事を進めます。

- ・港南桜道（港南区）
- ・大岡川プロムナード（南区）



根上がり対策工 実施イメージ(他地区における事例)



港南桜道(港南区)の根上がり状況

コラム⑧ 道路占用について

道路は、本来、車両や歩行者の通行など、一般の交通のために使用するものです。

一方、道路を基盤として、様々な活動が展開されることに伴い、本来の目的以外に、道路を使用する必要性が生まれてきます。代表例としては、電柱の設置、水道やガス管の埋設、店先で店名表示をする突出看板などがあります。

このように、道路の占用とは、本来の目的以外に道路に一定の工作物、物件及び施設を設け、継続して道路を使用することをいいます。

道路を占用するためには、道路占用許可が必要であり、許可を受けた方から占用料を徴収します。

占用料は、道路の維持管理費に充てられています。

コラム⑨ 道路高架下・道路予定区域等の有効活用

道路維持管理の財源確保等を目的として、道路高架下等の未利用地や道路予定区域を駐車場などに活用しています。占用者は、附属機関における提案書の審査によって選定し、現在 23箇所でも有効活用を実施しています。

今後、入札で占用者を決定する占用入札制度もあわせて利用しながら、活用箇所と収入の増加に努めていきます。



(4) 道路清掃、施設管理

31億338万円（31億4802万円）

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行うとともに、道路施設の効率的な維持管理のために道路管理高度化システム（道路土木G I S）の整備を進めます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックのサッカー競技会場が予定されている新横浜地区では、温暖化対策として道路照明灯の灯具の交換によるLED化を集中的に進めるほか、道路標識を外国人に分かり易いものにするための改善を進めます。

- ・ 道路等の清掃
車道 約600km
駅前広場 26駅（30箇所）
- ・ 道路照明灯の管理 約62,200灯
- ・ エレベーターの管理 101基
- エスカレーターの管理 59基（動く歩道含む）
- ・ 共同溝の維持管理 2箇所（みなとみらい、港北ニュータウン）
- ・ 道路台帳の管理、更新
- ・ 道路管理高度化システム（道路土木G I S）の道路施設情報の拡充
- ・ 認定路線の管理
- ・ 路面下空洞調査 幹線道路 約70km
- ・ 工事や維持管理に必要な品質確保のための技術基準の作成 など



車道の清掃

【エレベーター内からのメール送信】

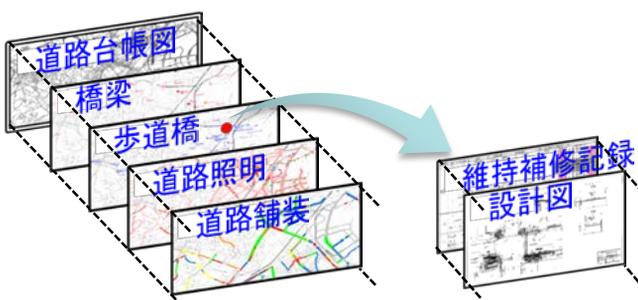


【監視室での確認】



聴覚障害者に配慮したエレベーターの緊急対策

コラム⑩ 道路管理高度化システム（道路土木G I S）



カーナビゲーションなどに用いられるG I Sを活用し、橋梁・歩道橋・道路舗装などの道路施設の情報を重ね合わせるとともに、構造物の維持補修記録や設計図なども一元的に管理することで、効率的な道路施設の維持管理を行います。

コラム⑪ 路面下空洞調査



空洞探査車



発見された空洞の修繕

緊急輸送路やバス通りなどの幹線道路について空洞探査車等を用いた路面下の空洞調査を行っています。

この調査により、道路陥没など突発的な道路の事故や被害を事前に防止し、道路の保全と道路交通の安全確保に取り組んでいます。

(5) 河川水路等施設管理

7億6497万円（7億8183万円）

本市管理の一級・二級・準用河川及び雨水調整池、流域貯留浸透施設、水路、環境施設の維持管理や、県が管理する改修事業中の二級河川の維持を行います。

- ・堆積土砂や樹木などの除去
- ・転落防止柵の補修や危険箇所の除去
- ・河川・水路の占用許可 など



河川点検の様子

(6) 市営自動車駐車場の管理運営

10億4984万円（12億669万円）

【自動車駐車場事業費会計】

都心部における路上駐車対策として管理・運営を行います。

- ・福富町西公園地下駐車場
 - ・ポートサイド地下駐車場
 - ・馬車道地下駐車場
 - ・山下町地下駐車場
 - ・日本大通り地下駐車場
 - ・伊勢佐木長者町地下駐車場
- 6箇所

管理運営： 5億248万円（6億170万円）
公債費等： 5億4736万円（6億499千円）

3 誰もが安全・安心に利用できる道路空間

(1) 通学路安全対策事業【一部再掲】 **22億9544万円< 23億9544万円>** (17億2735万円)

地域からの要望を踏まえ、歩道設置やあんしんカラーベルトの整備など引き続き通学路の安全対策を推進します。

ア 歩道設置 **21億8198万円< 22億2198万円>** (16億1489万円)

これまでに歩道整備等が実現した事例をまとめた映像やリーフレットを用いて、スクールゾーン対策協議会等で周知・啓発を行い、地域と連携して取り組んできました。平成29年度は、地域の合意形成が進んだ原宿第239号線（戸塚区小雀小学校）などを新たに事業化します。

- ・市道川向第39号線（港北区）
- ・市道長津田第296号線（緑区）
- ・佐江戸北山田線【山王前地区】（都筑区）
- ・市道上飯田第354号線（泉区）
- ・市道宮沢第306号線（泉区）（平成29年度一部区間完成予定）
- ・市道戸塚第420号線（戸塚区）（平成29年度完成予定）
- ・市道原宿第239号線（戸塚区） など約50箇所



市道戸塚第420号線(戸塚区)

イ あんしんカラーベルトの整備 **8600万円< 1億4600万円>** (9500万円)

歩道設置が困難な道路でも歩行者スペースを視覚的に認知でき、安全対策として効果があるあんしんカラーベルトの整備を推進していきます。（約27km、全区）

ウ 新たな対策手法の検討 **1000万円（新規）**

通学路をはじめとした生活道路における安全対策について、ビッグデータの活用や狭さくの設置などの新たな対策手法の検討に取り組みます。

エ 児童交通安全対策 **1746万円（1746万円）**

小学生を対象にした「はまっ子交通あんぜん教室」開催のための補助金を交付します。また、「スクールゾーン活動のしおり」「通学路安全点検ハンドブック」等を作成することにより、スクールゾーン協議会の活動を支援します。

コラム⑫ 通学路の安全対策

スクールゾーン対策協議会では、歩道設置やあんしんカラーベルトの整備などの要望が数多く挙がっています。未来を担う子供たちを交通事故の危険から守るためには、地域と行政がそれぞれの役割を果たしながら、連携して安全対策を進めていくことが重要です。

地権者への協力要請など、地域が自らの問題と捉えて取り組むケースも増えており、道路局においても児童の安全確保に向けて積極的に事業展開していきます。

■東中田小学校（泉区）（事業中）

地域の方々が土地所有者に働きかけを行い、用地取得の協力の内諾を得て事業化できました。測量・設計を進めます。



■東本郷小学校（緑区）（整備事例）

東本郷まちづくり協議会が中心となり、通学路沿いの土地所有者に歩道の必要性を説明し、土地の無償貸与の協力を得ることができました。平成27年度に歩道整備し、通学路の安全を確保しました。

整備前



整備後



(2) 踏切の安全対策 (歩行者対策)

4億3163万円 (2億2000万円)

「横浜市踏切安全対策実施計画」(平成28年3月)に基づき、跨線人道橋整備等の安全対策を進めます。

ア 跨線人道橋の整備

- ・ 生見尾踏切 (鶴見区)
- ・ 樹源寺踏切 (保土ヶ谷区)

イ 踏切拡幅

- ・ 杉田第2踏切 (磯子区)



生見尾踏切(鶴見区)

(3) 連続立体交差事業【再掲】

23億2247万円<53億2247万円> (33億7800万円)

(4) 交通安全施設の補修

4億3429万円 (4億829万円)

防護柵、案内標識等の補修を行うとともに、エレベーターについては、経年や点検結果を踏まえ更新していきます。

また、老朽化した道路照明灯の建替えに際しては、LED化を併せて実施します。



LED道路照明灯

(5) 私道対策

1億670万円 (1億1634万円)

市民が行う私道の舗装工事等への助成や、市民要望による私道整備を進めます。

また、私道を公道に移管するための測量費等の助成を行います。



私道整備助成実施前

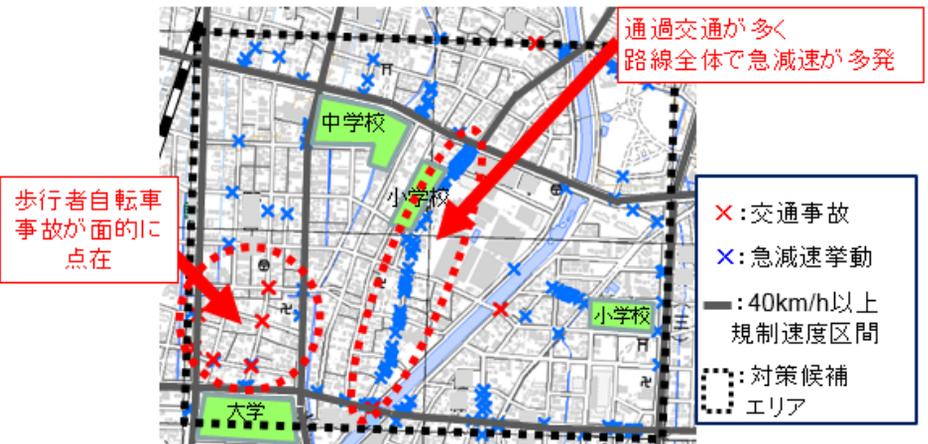


私道整備助成実施後

コラム⑬ ビッグデータを活用した交通安全対策

ETC2.0車載器に記録された運転データ(走行履歴や挙動履歴)を道路沿いに設置された通信施設を通じて国土交通省が収集し、急ブレーキが多発しているポイントや速度超過が多発している区間などを分析します。その情報を国土交通省から提供してもらい、生活道路の安全対策の検討に役立てます。

本市においても国土交通省と連携し、ビッグデータを活用した交通安全対策をモデル的に実施します。



歩行者自転車事故が面的に点在

通過交通が多く路線全体で急減速が多発

ビッグデータによるエリア分析のイメージ<事故・急減速位置図>

国土交通省ホームページより抜粋

Ⅲ 魅力あるまち・みちづくり

～魅力や利便性を向上し、誰もが住み続けたいまちへ！～

1 駅周辺の魅力・利便性の向上

(1) 住み続けたいまち・みちづくり推進事業 1000万円（1000万円）

誰もが住み続けたいと思えるまちを目指して、駅周辺の利便性や魅力の向上につながるみちづくりの調査・検討を進めます。また、「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」の策定に向けた地域・事業者等との調整や、関連する事業を進めます。



(2) バリアフリーの推進 2億1682万円（2億2177万円）

駅周辺のバリアフリー化を推進するため、バリアフリー法に基づく基本構想の検討・策定を進めます。

・戸塚区、保土ヶ谷区

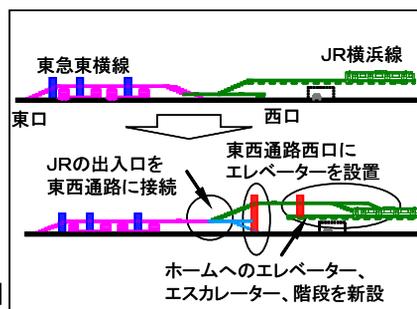
また、基本構想を策定した地区から歩道の段差改善等、バリアフリー歩行空間を整備します。

- ・十日市場駅周辺地区（緑区）
 - ・市が尾駅周辺地区（青葉区）
- など 11地区

(3) 交通結節点の整備 6億9222万円（2億6700万円）

ア 菊名駅バリアフリー化事業 1億6722万円（1億5700万円）

交通結節点の機能強化のため、平成25年度から菊名駅の東西通路及び乗換通路のバリアフリー化を鉄道事業者と進めており、29年度に供用開始する予定です。



菊名駅の改良イメージ図

※ 上記のイメージ図は現時点での計画図であり、変更する場合があります。

イ 大船駅県道横断歩道橋整備事業 1000万円（1000万円）

現在事業中の「大船駅第二地区第一種市街地再開発事業」にあわせ、大船駅北口（笠間口）から再開発事業で整備予定の駅前広場等まで安全かつ円滑にアクセスできるよう歩道橋の整備を進めます。

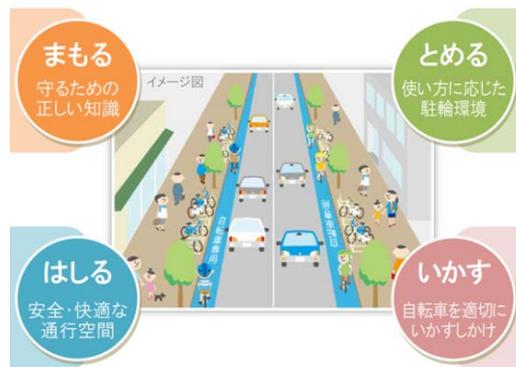
ウ 大岡川横断人道橋の整備 5億円（9000万円）

JR及び地下鉄桜木町駅から、開発が進められている北仲通地区への歩行者交通量増加に伴う動線の確保と利便性の向上、みなとみらい21や関内等周辺地区との回遊性向上のため、平成32年度の供用開始を目指し、歩行者専用橋の整備を進めます。

- エ 鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討 1500万円（300万円）
 鶴見区「新鶴見橋～末吉橋」間、港北区「新羽橋～新横浜大橋」間について橋梁新設に向けて予備設計などの調査・検討を進めます。

- (4) 自転車の安全利用・駐輪施策の推進 24億5780万円（25億2830万円）
 「横浜市自転車総合計画」に基づき、自転車利用のルール・マナーの周知、自転車通行空間の整備、放置防止対策、及び自転車駐車場の管理運営・整備・補修などの自転車施策を総合的に進めます。

- ア 自転車総合計画の施策推進 2900万円（1599万円）
- ・ルールを学べる新たな教育の機会の拡充
 - ・モデル地区における「自転車通行空間整備実行計画」及び「駐輪対策方針」の策定
 - ・新たな料金制度や民間のノウハウのさらなる活用についての検討
- イ 自転車等放置防止対策 5億3512万円（5億7295万円）
- ・放置自転車の移動 115駅（全区）
 - ・マナーアップ監視員による啓発等
- ウ 有料自転車駐車場の管理運営 16億1442万円（16億1476万円）
- ・242箇所
- エ 自転車駐車場の整備 2億2026万円（2億2500万円）
- ・西谷駅（保土ヶ谷区）など3箇所（180台）
- オ 民営自転車駐車場の整備費補助 4000万円（4000万円）
- ・1,000台
- カ 自転車通行空間の整備 1900万円（5960万円）
- ・市道新羽荏田線（都筑区）など2箇所（整備延長：約3.2km）



自転車総合計画で取り組む4つのテーマ

コラム⑭ 鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討

鶴見川の中下流域では、橋の間隔の広い箇所が残っており、地域の交通や防災等の面から、平成27年度に橋梁新設の必要性が高い区間について検討を行い、その結果、鶴見区「新鶴見橋～末吉橋」間及び港北区「新羽橋～新横浜大橋」間を抽出しました。
 現在、抽出した区間において、橋梁新設に向けた調査・検討等を進めています。



2 駅周辺への道路交通環境改善

(1) 道路改良【一部再掲】 16億7610万円<16億7890万円> (19億2169万円)

市民生活やバス交通の利便性の向上を図るため、歩道設置や交差点改良によるボトルネックの解消等、市民生活に密着した道路改良事業を進めます。

- ・市道市場第42号線【元宮二丁目地区】（鶴見区）
- ・市道谷津第232号線（金沢区）
- ・県道横浜生田【新羽町地区】（港北区）
- ・市道北八朔南部第387号線【三保町地区（その2）】（緑区）
- ・県道阿久和鎌倉【萩丸交差点】（泉区）
- ・市道戸塚第420号線（戸塚区）（平成29年度完成予定）
- ・県道瀬谷柏尾【本郷その2地区】（瀬谷区）
- ・市道上瀬谷第368号線【瀬谷団地連絡道路】（瀬谷区）（平成29年度完成予定） など51箇所



県道阿久和鎌倉【萩丸交差点】（泉区）
当該道路を拡幅することにより、
・右折レーン設置による渋滞解消
・歩道設置による歩行者の安全確保
を図ります。

(2) バス交通施策 4億5223万円 (5億1315万円)

ア 地域交通サポート事業 2460万円 (2541万円)

新たなバス路線の導入及び再編の支援を進めます。

- ・境木地区（保土ケ谷区）
- ・釜利谷地区、東朝比奈地区（金沢区） など

また、高齢者等移動支援バスモデル事業の実証運行を進めます。

- ・山下地区（緑区）
- ・都田、池辺地区（都筑区）

イ 生活交通バス路線の維持支援 4億2764万円 (4億8774万円)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められる17路線に対し補助金を交付し、バス路線を維持します。

コラム⑮ 新たな試み：高齢者等移動支援バスモデル事業

バス事業者によるサービスが難しい地域において、住民が助け合い、移動手段を確保する新たな取組として、平成28年12月から緑区山下地区で実証運行を行っています。

地区住民による「山下地区安全・安心まちづくり協議会」が、横浜環状北西線建設関連企業から提供を受けた車両を使用して運行しています。協議会メンバーも自ら運転手となるなど、本格運行に結び付けようと頑張っています。



3 まちの魅力創出

(1) 健康みちづくり推進事業

7950万円（6500万円）

「健康みちづくり推進事業実施計画」に基づき、選定したプロムナード等において、舗装、案内サインやベンチなどを設置し、楽しみながら健康づくりに取り組める歩行空間の整備を進めます。

- ・ 神奈川区、南区、港南区 など9地区



平成27年度整備事例：青葉区
美しが丘健康づくり歩行者ネットワークルート



平成27年度整備事例：南区
誰もが気軽にウォーキングを楽しめる川と桜のルート

ベンチの設置にあたっては、「横浜サポーターズ寄附金」の中に新たなメニューを設け、市民の皆様への寄附金を活用していきます。



整備イメージ

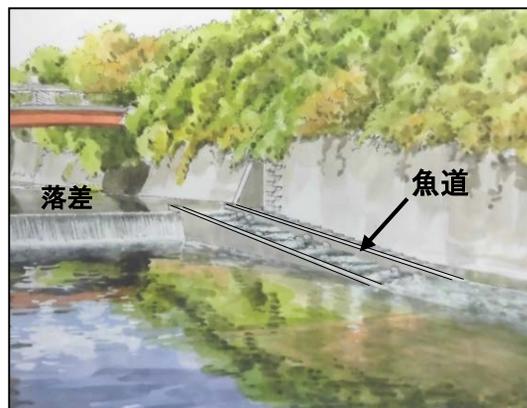
(2) 河川環境の整備

3700万円（1億8966万円）

「アユが遡上する街、ヨコハマ」を目指し、帷子川において魚道の設置による落差の改善など、上流への生息域の拡大を図ります。

- ・ 旭区役所付近の鶴峰橋上流1か所の落差改善

また、新たに設置したワーキンググループで、市民と協働でアユの棲みやすい環境づくりの手法を検討していきます。



魚道整備のイメージ

(3) 市民協働による美化活動の推進

1949万円 (2157万円)

ア ハマロードサポーター

903万円 (1112万円)

自治会・町内会、企業等の団体による市道の清掃、美化活動を支援します。

- ・ 支援団体 447団体
- ・ 支援内容 清掃用具、ごみ袋の支給
- ・ 全体交流会 8月予定
永年活動表彰 など



ハマロード・サポーター

イ 水辺愛護会活動支援事業

1047万円 (1046万円)

地域や有志の方々により構成された団体による河川や水辺施設の美化活動を支援します。

(制度発足20周年)

- ・ 支援団体 94団体
- ・ 支援内容 水辺環境の美化活動に対する補助
- ・ 交流会、永年活動表彰 など



水辺愛護会の活動

コラム⑩ 魅力ある帷子川を考えるワーキング始動！

アユの棲みやすい環境づくりや環境活動、イベント等について、帷子川に関心がある市民の方々と一緒に考えるワーキングを進めます。アユの遡上をきっかけに、帷子川の魅力づくりや地域のコミュニティの活性化につなげていきます。



幅広い層の市民の方に参加して頂いています。



アユが遡上する帷子川の魅力や課題を議論

平成29年度 道路局予算

(単位:千円)

	29年度予算	28年度予算	増▲減額	増▲減率
一般会計	84,872,703	98,758,539	▲ 13,885,836	▲ 14.1%
12款 道路費	83,611,879	97,351,005	▲ 13,739,126	▲ 14.1%
1項 道路維持管理費	23,249,465	22,436,697	812,768	3.6%
1目 道路行政総務費	6,552,799	6,762,928	▲ 210,129	▲ 3.1%
2目 道路用地整理費	70,725	80,112	▲ 9,387	▲ 11.7%
3目 道路台帳整備費	252,921	261,662	▲ 8,741	▲ 3.3%
4目 道路等管理費	2,664,633	2,704,618	▲ 39,985	▲ 1.5%
5目 道路等維持費	11,461,477	10,347,419	1,114,058	10.8%
6目 交通安全推進・放置自転車等対策費	2,246,910	2,279,958	▲ 33,048	▲ 1.4%
2項 道路整備費	57,188,499	71,261,714	▲ 14,073,215	▲ 19.7%
1目 交通安全施設等整備費	761,263	582,511	178,752	30.7%
2目 交通輸送対策費	203,124	193,917	9,207	4.7%
3目 道路特別整備費	9,538,574	10,341,782	▲ 803,208	▲ 7.8%
4目 街路整備費	34,160,923	43,028,342	▲ 8,867,419	▲ 20.6%
5目 高速道路等整備費	3,270,615	7,861,162	▲ 4,590,547	▲ 58.4%
6目 道路費負担金	9,254,000	9,254,000	0	0.0%
3項 河川費	3,173,915	3,652,594	▲ 478,679	▲ 13.1%
1目 河川管理費	878,013	860,612	17,401	2.0%
2目 河川整備費	2,295,902	2,791,982	▲ 496,080	▲ 17.8%
17款 諸支出金	1,260,824	1,407,534	▲ 146,710	▲ 10.4%
1項 特別会計繰出金	1,260,824	1,407,534	▲ 146,710	▲ 10.4%
10目 自動車駐車場事業費会計繰出金	546,363	603,988	▲ 57,625	▲ 9.5%
12目 公共事業用地費会計繰出金	447,533	475,049	▲ 27,516	▲ 5.8%
16目 自動車事業会計繰出金	266,928	328,497	▲ 61,569	▲ 18.7%

(単位:千円)

	29年度予算	28年度予算	増▲減額	増▲減率
特別会計 自動車駐車場事業費会計	1,049,843	1,206,688	▲ 156,845	▲ 13.0%
1款 自動車駐車場事業費	1,049,843	1,206,688	▲ 156,845	▲ 13.0%
1項 運営費	502,480	601,700	▲ 99,220	▲ 16.5%
1目 自動車駐車場運営費	502,480	601,700	▲ 99,220	▲ 16.5%
2項 公債費	546,363	603,988	▲ 57,625	▲ 9.5%
1目 元金	505,744	554,043	▲ 48,299	▲ 8.7%
2目 利子	39,415	49,854	▲ 10,439	▲ 20.9%
3目 公債諸費	1,204	91	1,113	1223.1%
3項 予備費	1,000	1,000	0	0.0%
1目 予備費	1,000	1,000	0	0.0%

1		(12款1項1目) 道路行政総務費		道路行政全般にかかる諸経費の支出を行います。
	本年度	千円	6,552,799	1 職員人件費 6,512,273千円 (6,722,362) ・一般職 771人、再任用職員 59人 2 技術監理費 12,570千円 (11,910) ・労務・資材費調査委託費及び技術研修等にかかる経費 3 総務管理費等 27,956千円 (28,656) ・局内の事務費集約にともなう消耗品費及び庁用備品費等
	前年度		6,762,928	
	差引		▲ 210,129	
本年度の財源	国・県支出金		0	
	使用料		0	
	諸収入等		12	
	市債		0	
	一般財源		6,552,787	

2		(12款1項2目) 道路用地整理費		私道から公道に移管するために必要となる測量費及び公図訂正をするための測量費を助成します。
	本年度	千円	70,725	1 公道移管助成費等 61,595千円 (71,391) ・公道移管測量費助成金 ・公図混乱地域内測量費助成金 2 路線管理システム及び財産管理システム費 1,332千円 (1,332) ・システムの運用・保守等にかかる経費 3 認定路線管理費 7,798千円 (7,389) ・議案参考図作成委託費等
	前年度		80,112	
	差引		▲ 9,387	
本年度の財源	国・県支出金		0	
	使用料		0	
	諸収入等		18	
	市債		0	
	一般財源		70,707	

3 (12款1項3目) 道路台帳整備費		
本年度	千円 252,921	道水路等境界調査及び、道路法に定められている道路台帳の整備等を行います。
前年度	261,662	
差引	▲ 8,741	
本年度の財源	国・県 支出金	0
	使用料	4,314
	諸収入等	1,969
	市債	0
	一般財源	246,638
		1 道水路等境界調査費 92,381千円 (103,188) ・道路及び水路等と民有地との境界を確定する経費 2 道路台帳整備費 160,540千円 (158,474) ・道路台帳整備のための測量・調査費等

4 (12款1項4目) 道路等管理費		
本年度	千円 2,664,633	歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な管理を行います。
前年度	2,704,618	
差引	▲ 39,985	
本年度の財源	国・県 支出金	7,800
	使用料	1,425,856
	諸収入等	246,926
	市債	0
	一般財源	984,051
		1 道路管理事業費 177,898千円 (121,320) ・道路占用・掘削許可、貸付地管理、道路原因事故の賠償等 2 道路管理システム運用事業費 100,510千円 (100,510) ・道路管理システムの運用 3 ハマロード・サポーター事業費 9,028千円 (11,115) ・ハマロード・サポーターの活動支援 4 道路清掃費 640,570千円 (639,621) ・道路、駅前広場等の清掃 5 道路照明費 1,181,485千円 (1,292,450) ・道路照明灯の維持管理 6 エレベーター等管理費 423,510千円 (402,958) ・エレベーター・エスカレーター等の維持管理 7 共同溝管理費 111,165千円 (111,165) ・みなとみらい2 1及び港北ニュータウン共同溝の維持管理 8 自由通路管理費 19,500千円 (24,512) ・大船駅北口等の自由通路の維持管理 9 高架下等有効活用事業費 967千円 (967) ・検討会運営費等

5		(12款1項5目) 道路等維持費	
	本年度	千円	11,461,477
	前年度		10,347,419
	差引		1,114,058
本年度の財源	国・県支出金		13,621
	使用料		4,369,003
	諸収入等		28,000
	市債		0
	一般財源		7,050,853

道路の安全を維持するために道路の修繕を行うほか、街路樹の維持管理を行います。

- 1 道路修繕費** 9,959,804千円 (8,959,804)
 - ・道路の計画的な修繕や緊急を要する舗装修繕等
 - ・舗装の補修時期に合わせた低騒音舗装の実施
- 2 すず風舗装整備費** 7,257千円 (9,071)
 - ・舗装表面の温度上昇を抑制する、すず風舗装の実施
- 3 私道対策事業費** 49,200千円 (49,045)
 - ・私道整備助成、私道整備
- 4 街路樹管理事業費** 1,445,216千円 (1,329,499)
 - ・街路樹及び植樹帯の維持管理
 - ・街路樹保全のための改良工事

6		(12款1項6目) 交通安全推進・ 放置自転車等対策費	
	本年度	千円	2,246,910
	前年度		2,279,958
	差引		▲ 33,048
本年度の財源	国・県支出金		0
	使用料		2,131,324
	諸収入等		6,366
	市債		0
	一般財源		109,220

各季の交通安全運動等や交通安全教育を行います。また、「自転車総合計画」に基づき、ルールやマナーの周知・啓発等を行うとともに、駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、自転車等放置防止対策及び自転車駐車場の管理運営等を行います。

- 1 放置自転車等移動・保管事業費** 411,519千円 (443,648)
 - ・市内115駅周辺の放置禁止区域に放置された自転車の移動等
 - ・自転車総合計画に掲げた施策を推進するための調査検討
- 2 有料自転車駐車場運営事業費** 1,614,417千円 (1,614,763)
 - ・市内242箇所、約97,000台の有料自転車駐車場の運営
- 3 自転車マナーアップ事業費** 144,492千円 (147,657)
 - ・自転車マナーアップ監視員の配置
 - ・自転車の交通安全の周知、啓発及び教育
- 4 民営施設整備助成費** 40,000千円 (40,000)
 - ・民営自転車駐車場整備に対する補助
- 5 交通安全推進事業費** 36,482千円 (33,890)
 - ・交通安全実施計画の策定
 - ・交通安全の周知、啓発及び教育

7		(12款2項1目) 交通安全施設等整備費	
	本年度	千円	761,263
	前年度		582,511
	差引		178,752
本年度の財源	国・県 支出金		0
	使用料		209,063
	諸収入等		145,000
	市債		0
	一般財源		407,200

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。

- 交通安全施設等整備費** 492,000千円 (312,511)
・歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯等の施設の整備
- 自転車駐車場等整備費** 223,263千円 (225,000)
・市営自転車駐車場の整備等
- あんしんカラーベルト事業費** 46,000千円 (45,000)
・通学路等における路側帯のカラー化

8		(12款2項2目) 交通輸送対策費	
	本年度	千円	203,124
	前年度		193,917
	差引		9,207
本年度の財源	国・県 支出金		2,750
	使用料		0
	諸収入等		0
	市債		0
	一般財源		200,374

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス交通施策を推進します。また、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進していくため、バリアフリー基本構想の策定を進めます。

- 横浜市生活交通バス路線維持支援事業等** 160,710千円 (159,246)
・生活交通バス路線の運行に関する補助金等
- 地域交通サポート事業等** 27,595千円 (25,405)
・地域交通サポート事業検討業務委託費、実証運行赤字補填費等
・高齢者等移動支援バスモデル事業
- まちのバリアフリー化推進調査費等** 14,819千円 (9,266)
・基本構想策定業務委託費等

9	(12款2項3目) 道路特別整備費	
	本年度	千円 9,538,574
	前年度	10,341,782
	差引	▲ 803,208
本年度の財源	国・県 支出金	3,756,101
	使用料	0
	諸収入等	195,261
	市債	3,214,000
	一般財源	2,373,212

幹線道路や歩道、電線共同溝の整備、踏切安全対策やバリアフリーの推進、橋梁の地震対策及び点検や老朽化対策などを実施します。

1 幹線道路の整備

- (1) 都市計画道路等の整備 1,243,510千円 (2,353,000)
・上郷公田線(公田地区:栄区) など
- (2) 国道の整備 333,172千円 (15,000)
・国道1号(不動坂交差点:戸塚区) など
- (3) 連続立体交差関連事業 1,000千円 (1,000)
・市道天王町第99号線(保土ヶ谷区)

2 地域の道路整備と交通施策

- (1) 道路改良の推進 1,676,103千円 (1,921,688)
・市道戸塚第420号線(戸塚区) など
- (2) 踏切安全対策の推進 431,628千円 (220,000)
・生見尾踏切(鶴見区) など
- (3) あんしんカラーベルトの整備 40,000千円 (50,000)
・市道青葉台第260号線(青葉区) など
- (4) バリアフリーの推進 204,000千円 (212,500)
・市が尾駅周辺地区(青葉区) など
- (5) 住み続けたいまち・みちづくり推進事業
10,000千円 (10,000)
- (6) 健康みちづくりの推進 79,500千円 (65,000)
・ルート整備(神奈川区) など
- (7) 無電柱化の推進 483,000千円 (483,000)
・主要地方道山下本牧磯子線(磯子区) など
- (8) 自転車交通施策 30,000千円 (65,589)
・自転車利用環境の向上に向けた検討業務 など
- (9) 交通結節点の整備 177,216千円 (174,000)
・菊名駅バリアフリー化工事(港北区) など
- (10) 旧深谷通信所跡地利用関連道路計画検討
20,000千円 (20,000)
- (11) 旧上瀬谷通信施設跡地利用関連道路計画検討
10,000千円 (10,000)
- (12) 鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討 15,000千円 (3,000)

3 道路等の維持・管理

- (1) 道路がけ防災対策の推進 170,000千円 (270,000)
・道路がけの防災工事
- (2) 交通安全施設の補修 434,294千円 (408,294)
・防護柵、案内標識等の施設の補修
・道路照明灯のLED化
- (3) 歩道橋の維持・管理 719,001千円 (723,001)
・歩道橋長期保全計画に基づく長寿命化の推進
・地震時の歩道橋の損傷防止のための耐震対策の推進
- (4) 施設管理 151,716千円 (163,000)
・道路管理高度化システム(GIS)、路面下空洞調査

4 橋梁・トンネル等の維持・管理

- (1) 橋梁の地震対策 630,000千円 (960,000)
・新浦島橋(神奈川区) など
- (2) 橋梁の老朽化対策 2,396,343千円 (2,006,619)
・嶮山中央橋(青葉区) など
- (3) トンネル・地下道の補修 283,091千円 (207,091)
・萩台トンネル(磯子区) など

10	(12款2項4目) 街路整備費	
	本年度	千円 34,160,923
	前年度	43,028,342
	差引	▲ 8,867,419
本年度の財源	国・県 支出金	11,742,975
	使用料	1
	諸収入等	6,514,587
	市債	10,021,000
	一般財源	5,882,360

横浜環状北西線整備事業や都市計画道路等の整備を実施します。

1 高速道路の整備 21,383,129千円 (29,741,611)

- (1) 横浜環状北西線および関連街路
- (2) 横浜環状北線 関連街路
- (3) 横浜環状南線 関連街路

2 幹線道路の整備 12,167,794千円 (13,029,573)

- (1) 都市計画道路の整備 4,850,329千円 (4,652,573)
 - ・鴨居上飯田線【本宿二俣川地区】 (旭区)
 - ・金沢シーサイドライン (金沢区)
 - ・宮内新横浜線【新吉田高田地区】 (港北区)
 - ・環状3号線【戸塚地区・南戸塚地区・汲沢地区】 (戸塚区)
 - ・桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】 (戸塚区)
 - ・権太坂和泉線【和泉地区】 (泉区)
- (2) 連続立体交差事業 2,317,465千円 (3,377,000)
 - ・相模鉄道本線 (星川駅～天王町駅) 連続立体交差事業 (保土ヶ谷区) 2,210,665千円 (3,311,000)
 - ・相模鉄道本線 (鶴ヶ峰駅付近) 連続立体交差事業 (旭区) 106,800千円 (66,000)
- (3) 一般財団法人横浜市道路建設事業団への補助 5,000,000千円 (5,000,000)

3 大岡川横断人道橋 (仮称) の設計, 工事 500,000千円 (90,000)

4 橋梁・トンネル等の保全 110,000千円 (110,000)

* 終了事業等 - 円 (57,158)

11 (12款2項5目) 高速道路等整備費			
本年度	千円 3,270,615	<p>市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関する道路の整備等を進めます。</p> <p>横浜環状道路の北西線（東名高速～第三京浜）・北線（馬場出入口）及び南線（横浜横須賀道路～国道1号）については、関連街路を含め、引き続き整備を進めます。</p>	
前年度	7,861,162		
差引	▲ 4,590,547		
本年度の財源	国・県支出金		0
	使用料		0
	諸収入等	141,773	
	市債	3,124,000	
	一般財源	4,842	
		<p>1 横浜環状道路関連街路調査費 85,800千円 (16,800)</p> <p>・北線開通後の整備効果調査等</p> <p>2 首都高速道路整備（横浜環状北線・北西線）に対する出資金 3,124,000千円 (7,736,500)</p> <p>3 高速道路調査事務費等 60,815千円 (107,862)</p>	

12 (12款2項6目) 道路費負担金			
本年度	千円 9,254,000	<p>国直轄事業（国道）に対して、道路法にもとづき負担金を支出します。</p> <p>1 国道468号横浜環状南線及び横浜湘南道路 8,269,833千円 (8,360,000)</p> <p>・首都圏中央連絡自動車道等の改築 （幹線道路ネットワーク整備）</p> <p>2 国道16号電線共同溝の整備 など 984,167千円 (894,000)</p>	
前年度	9,254,000		
差引	0		
本年度の財源	国・県支出金		80,000
	使用料		0
	諸収入等	0	
	市債	9,174,000	
	一般財源	0	

13 (12款3項1目) 河川管理費		
本年度	千円 878,013	
前年度	860,612	
差引	17,401	
本年度の財源	国・県支出金	0
	使用料	146,900
	諸収入等	20,471
	市債	0
	一般財源	710,642

河川及び水路等の維持管理を適切に行うとともに、効率的な維持管理のため、点検を実施し、その結果に基づき、長寿命化に向けた取組を推進します。
水辺愛護会活動を充実させるため、他団体との交流会や表彰式等を実施します。
水防災情報システムによる確実な水位情報等の提供により、水防管理者との連携を強化します。

1 河川・水路等維持管理事業費 754,285千円 (747,186)
 ・堆積土砂や樹木などの除去
 ・転落防止策の補修や危険個所の除去
 ・環境施設の環境に配慮した維持
 ・保全計画策定のための調査 (護岸を有する水路)

2 水政事業費 29,153千円 (29,104)
 ・河川・水路の占用許可など
 ・水辺愛護会活動への支援

3 水防事業費 94,575千円 (84,322)
 ・水防災情報システムによる市民への水位や画像等の情報提供
 ・水防資機材の備蓄・整備
 ・親水拠点等の保守点検及びしゅんせつ など

14 (12款3項2目) 河川整備費		
本年度	千円 2,295,902	
前年度	2,791,982	
差引	▲ 496,080	
本年度の財源	国・県支出金	891,190
	使用料	0
	諸収入等	35
	市債	634,000
	一般財源	770,677

台風や集中豪雨等から市民の生命・財産や都市機能を守り、市民の安全・安心を確保するため、河川改修、流域貯留施設の整備を進めます。また、河川が本来有している環境の保全と創造を目指し、市民協働による多自然川づくりを進めます。

1 河川改修 2,119,422千円 (2,424,362)
 (1) 都市基盤河川改修事業費
 ・帷子川 学校橋の架替え
 ・今井川 護岸改修、JR岩間川橋梁工事
 ・和泉川 護岸改修、暫定通水による浸水対策
 ・阿久和川 慶林橋の架替え など
 (2) 準用河川改修事業費
 ・準用奈良川 護岸改修
 ・準用日野川 護岸改修 など

2 流域貯留浸透事業費 14,200千円 (29,200)
 ・中山小学校 貯留施設の設計等委託 など

3 河川環境整備事業費 37,000千円 (189,660)
 ・アユが遡上する帷子川アクションプランの推進 など

4 河川改良・老朽化対策事業費 112,000千円 (113,000)
 ・河川保全計画に基づく護岸の長寿命化 など

5 環境エネルギー活用による水防機能の強化 13,280千円 (35,760)
 ・再生可能エネルギーによる警報装置等の緊急時電源確保の実証実験

15	(17款) 特別会計繰出金		自動車駐車場事業費会計、公共事業用地費会計及び生活交通バス路線維持支援事業に繰り出します。
	本年度	千円 1,260,824	
	前年度	1,407,534	
	差引	▲ 146,710	
本年度の財源	国・県支出金	0	
	使用料	0	
	諸収入等	0	
	市債	0	
	一般財源	1,260,824	
			1 自動車駐車場事業費会計繰出金 546,363千円 (603,988) ・自動車駐車場事業費会計への繰出金 2 公共事業用地費会計繰出金 447,533千円 (475,049) ・都市開発資金の償還のための公共事業用地費会計への繰出金 3 横浜市生活交通バス路線維持支援事業 266,928千円 (328,497) ・自動車事業会計への繰出金

16	(特別会計) 自動車駐車場事業費会計		安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。
	本年度	千円 1,049,843	
	前年度	1,206,688	
	差引	▲ 156,845	
本年度の財源	国・県支出金	47,850	
	使用料	376,539	
	諸収入等	79,091	
	市債	0	
	一般会計繰入金	546,363	
			1 自動車駐車場運営費 502,480千円 (601,700) 四輪 二輪 ・福富町西公園地下駐車場 184台 ・ポートサイド地下駐車場 200台 ・馬車道地下駐車場 200台 25台 ・山下町地下駐車場 193台 26台 ・日本大通り地下駐車場 200台 ・伊勢佐木長者町地下駐車場 200台 2 公債費 546,363千円 (603,988) 3 予備費 1,000千円 (1,000)

損失補償

1 一般財団法人横浜市道路建設事業団のためにする損失補償

(1) 損失補償の概要

民間金融機関及び（一財）民間都市開発推進機構から借入を行った都市計画道路の整備に要した費用（債務）の返済状況にあわせ損失補償額を変更します。

ア 損失補償額	変更前：499億5900万円 変更後：457億4700万円
イ 損失補償期間	変更前：平成28年4月から平成40年3月まで 変更後：平成29年4月から平成40年3月まで

(2) 団体の概要

ア 事業目的

横浜国際港都建設計画に基づいて行われる都市計画道路の整備事業の早期完成に資するため、横浜市と協調して都市計画道路の整備を行うとともに、その他の道路建設事業を推進することにより市民生活の向上、及び横浜市の産業・経済の発展に寄与することを目的としています。

- ・設立 昭和62年11月25日
- ・基本金 1億円（うち横浜市：5000万円（50%））

イ 団体の経営状況

横浜市からの補助金を受け、都市計画道路の整備に要した費用に係る債務の整理を行うとともに、公益法人制度により位置付けられた公益目的支出計画に基づき、市への道路資産等の引継ぎを計画的に行っています。

(3) 損失補償を行う特別な理由・必要性

公共事業として行われた都市計画道路の整備に要した費用の借入に対する既存の損失補償であり、団体が保有する資産は担保能力がない道路資産であるため、独自で資金調達を行うことは困難な状況でした。

(4) 対象債務の返済の見通しとその確実性

着実な返済を進めるうえで、平成26年8月に借入条件等の見直しを行い、また26年12月には中期計画において返済に充当する本市補助金を増額する方向性を打ち出しました。これにより39年度末までに対象債務を返済する見通しとなりました。

2 株式会社横浜シーサイドラインのためにする損失補償

(1) 損失補償の概要

平成22年度から26年度にかけて行った車両（16編成・80両）等の設備更新に要した費用（債務）の返済状況にあわせ損失補償額を変更します。

ア 損失補償額	変更前：41億6000万円 変更後：33億2000万円
イ 損失補償期間	変更前：平成28年4月から平成33年3月まで 変更後：平成29年4月から平成33年3月まで

(2) 団体の概要

(3) 事業目的

横浜市における総合交通体系の一翼を担い、市民の交通の利便を確保することを目的としています。

- ・設立 昭和58年4月22日
- ・基本金 101億円（うち横浜市64億円（63.4%））

(4) 団体の経営状況

開業以来、無事故運転を継続することで公益的使命を果たし、平成27年度決算では3億7千万円の純利益を計上するなど、経営改善を着実に進めます。

(3) 損失補償を行う特別な理由・必要性

安全かつ安定した運行を確保するためには、車両等の設備更新が必要であり、更新費用について民間金融機関から融資を受ける際、本市からの損失補償を求められました。

(4) 対象債務の返済の見通しとその確実性

平成25年12月に株式会社横浜シーサイドラインが示した中期経営計画の中で、対象債務を27年度から32年度にかけて返済する計画が位置けられています。

<参考> 各区土木事務所との連携

各区土木事務所では、道路局からの配付予算を使って道路修繕や河川の維持管理など、地域に密着した事業を行っています。

ここでは、平成29年度の各区土木事務所の主な取組を紹介します。

神奈川土木事務所

【道路修繕事業】

主要地方道横浜上麻生線は、平成26年度から計画的な補修を実施しています。

28年度は、六角橋六丁目地区（約550m）を実施しました。29年度は引き続き六角橋二丁目地区（約800m）を実施し、神奈川区内の約2kmが完了する予定です。



平成29年度実施予定 六角橋二丁目地区



施工前



施工後

平成28年度実施 六角橋六丁目地区

南土木事務所

【バリアフリーの推進】

平成27年3月に策定された「阪東橋駅・黄金町駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、駅と区役所など生活関連施設を結ぶ経路（延長2.9km）において、バリアフリー化を重点的に進めます。

29年度も引き続き、視覚障害者誘導用ブロックの敷設、歩道の段差解消、勾配改善などを進めています。



施工前



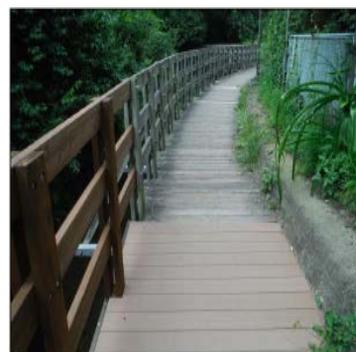
施工後

港南土木事務所

【河川水路等の維持管理】

馬洗川せせらぎ緑道は、気軽に散策できる区民のオアシスとして平成4年に誕生し、子どもたちの格好の遊び場として親しまれています。

しかし、木材で整備されたデッキや転落防止柵などの老朽化が進み、平成25年度より計画的に大規模な改修を進めます。29年度に完了する予定であり、引き続き安全にご利用いただける施設となるよう取り組んでいます。



保土ヶ谷土木事務所

【道路がけ防災対策】

保土ヶ谷区権太坂三丁目の道路がけ防災対策箇所は、国道1号に面した高さ15m程度の「がけ」になっており、自然斜面に10m程度の樹木が密集しています。

道路への倒木防止対策として、樹木の伐採を行うとともに、伐採後の自然斜面にも表層部の浸食、剥落を防ぐ対策工事を合わせて行っています。



旭土木事務所

【河川水路等の維持管理】

帷子川の旧川を活用し、「安心してゆったり歩ける遊歩道」の整備を進めます。

整備にあたっては、区民とのワークショップにてイメージを作成し、整備方法等の方針を決めたうえで、関係局と連携しながら実施しています。現在は、旧川の埋立及び雨水管の整備を行っています。



磯子土木事務所

【道路修繕事業】

横浜逗子線（笹下・釜利谷道路）は、平成23年度から計画的な補修を実施しています。28年度は、上中里地区（その1）（約250m）を実施しました。29年度は引き続き上中里地区（その2）（約350m）を実施し、32年度を目標に磯子区内の約4kmが完了する予定です。



平成29年度実施予定 上中里地区（その2）



施工前



施工後

平成28年度実施 上中里地区（その1）

